

平成26年 1月22日
国土交通省木曾川下流河川事務所
水資源機構中部支社
水資源機構長良川河口堰管理所

長良川河口堰の管理状況

1. 概要

平成26年1月13日から1月19日までの1週間の長良川河口堰のゲート操作状況、気象・水象・水質状況等についてお知らせします。

【河口堰上下流の塩分濃度（塩化物イオン値）の状況】

堰上流部では9～13mg/ℓ、堰下流部では14,000～17,000mg/ℓの値で推移しました。

飲用に適する塩分濃度は200mg/ℓ以下、工業用では20mg/ℓ以下であり堰上流部ではこれらの基準を満足しています。

【堰上流部における用水の利用状況】

長良導水（知多半島の4市5町への水道用水）として、約105万 m³（1週間の日平均取水量1.74m³/s）が利用されました。

その他各用水として水利権量の範囲内で利用されました。

【堰下流への流下量】

堰を通過して流れている流量は、1週間の日平均流量のうち最小の日の値は40m³/s（1月15日）、最大の日の値は60m³/s（1月13日）です。

2. 資料 ① 長良川河口堰の管理状況（No. 707）……………1頁 ～ 5頁
② 調査結果（平成26年1月13日～1月19日）……………1/7 ～ 7/7

3. 配布先 中部地方整備局記者クラブ、岐阜県政記者クラブ、三重県政記者クラブ、桑名記者クラブに同時配布します。

4. 問合せ先

- ・堰関連 独立行政法人 水資源機構
中部支社 総務課長 いししい 石井 ☎(052)231-7541（代）
長良川河口堰管理所 管理課長 はなだ 花田 ☎(0594)42-5012（代）
- ・水質関連 国土交通省
木曾川下流河川事務所 河川環境課長 まから 真柄 ☎(0594)24-5716

長良川河口堰のホームページで、最新および過去の管理情報をご覧になれます。
http://www.water.go.jp/chubu/nagara/14_kanri/index.html

QRコードは
こちらから
→



長良川河口堰の管理状況

No. 707

平成26年1月13日から1月19日までの1週間の長良川河口堰の管理状況は、以下のとおりです。

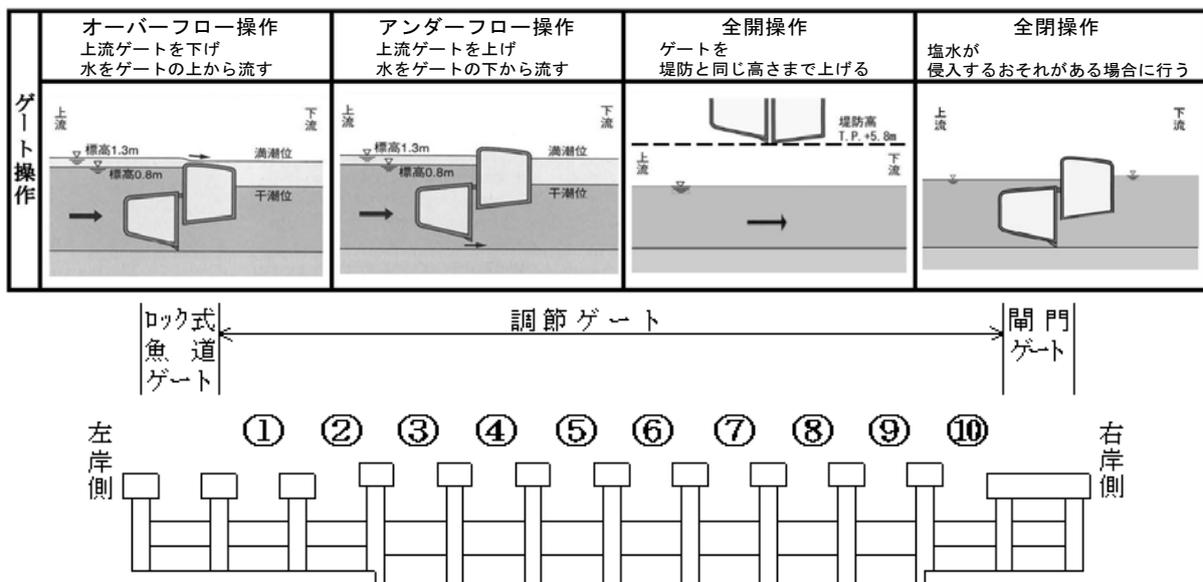
1. ゲートの操作状況等

1) 1月13日から1月19日までのゲート操作は次のとおり行いました。

9時時点の調節ゲート操作状況(※)				
月 日	オーバーフロー	アンダーフロー	全 開	全 閉
1月 13日	①～⑦ ⑨, ⑩			⑧ 整備作業を行う為
1月 14日	①～⑦ ⑨, ⑩			⑧ 整備作業を行う為
1月 15日	①～⑦ ⑨, ⑩			⑧ 整備作業を行う為
1月 16日	①～⑦ ⑨, ⑩			⑧ 整備作業を行う為
1月 17日	①～⑦ ⑨, ⑩			⑧ 整備作業を行う為
1月 18日	①～⑦ ⑨, ⑩			⑧ 整備作業を行う為
1月 19日	①～⑦ ⑨, ⑩			⑧ 整備作業を行う為

(※) ゲート操作状況の解説

調節ゲート1号を①、調節ゲート2号を②として、9時時点のゲートの状態を表しています。



2. 堰上下流水位の状況

1) 堰上流水位(※)

最高時 T. P. +1. 06m 1月19日 12時28分頃

最低時 T. P. +0. 85m 1月14日 01時33分頃

2) 堰下流水位

最高時 T. P. +0. 81m 1月18日 08時03分頃

最低時 T. P. -1. 38m 1月19日 02時58分頃

(※) 平常時の堰上流水位は、標高T. P. +1. 3mから標高T. P. +0. 8mまでの範囲で管理しています。

3. 気象、水象状況

河口堰地点の気象、水象は次のとおりです。

日	天気	気温 (°C)	雨量 (mm)	風速 (m/s)	風向 (16方位)	忠節 流量 (m ³ /s)	堰下流へ の流下量 (真水) (m ³ /s)	1月の過去 10ヶ年日平 均流下量 (m ³ /s) 60
1/13	晴れ	4. 2	-	4. 0	NNE	50	60	
14	晴れ一時曇り	1. 0	-	2. 2	N	45	55	
15	晴れ時々曇り	2. 6	-	2. 2	NNE	40	40	
16	晴れ一時曇り	4. 4	-	2. 6	NNE	35	45	
17	晴れ時々曇り	4. 7	-	2. 8	N	35	50	
18	晴れのち曇り 一時雨	2. 3	0	2. 9	NNE	35	45	
19	晴れ一時雨	1. 9	0	3. 7	NNW	35	45	
合計			0					

- ※・気温は9時現在値です。
 ・雨量は当日0時から24時までの合計値です。
 ・風速は当日0時から24時までの平均値です。
 ・風向(平均風向)は当日0時から24時までの最頻値です。
 ・忠節流量は9時現在値です。
 ・堰下流への流下量は当日0時から24時までの平均値です。
 ・忠節流量、堰下流への流下量の値は、100m³/s未満の場合には5m³/s刻み、100m³/s 以上の場合には有効数字2桁とした概略値です。
 なお、堰流下量については、堰上流水位を小潮・大潮の時期に応じて、標高T. P. +1. 3mから標高T. P. +0. 8mまでの範囲で変化させる操作により、日によって増減することがあります。

4. 閘門の利用状況

閘門の利用状況については、次のとおりです。

月 日	1月 13日	14日	15日	16日	17日	18日	19日
操作回数	6	4	13	15	8	7	4
利用船舶数	7	6	16	16	8	7	4

5. 水質等の状況

1) 河口堰上下流の塩分濃度変化（速報値）

河口堰では堰の上流水域を淡水化し、新たな水利用及び既存用水の常時取水の安定化を可能としています。

その確認のため、塩分濃度の状況を塩化物イオン値（Cl⁻濃度）で常に監視しています。堰上下流の塩分濃度は、次のとおりです。

（単位：mg/ℓ）

塩分濃度（塩化物イオン値）					
月 日 時刻	堰上流左岸250m地点			堰直下流 No.8 堰柱地点(※)	
	上 層	中 層	下 層	下 層	
1月 13日 9:00	11	12	12	17,000	
14日 9:00	11	11	13	15,000	
15日 9:00	9	11	11	15,000	
16日 9:00	10	10	11	17,000	
17日 9:00	10	12	11	14,000	
18日 9:00	11	12	12	14,000	
19日 9:00	10	11	11	14,000	

※・塩分濃度（NaCl, MgCl₂, KCl等の混合時の濃度）とCl⁻濃度の関係は「塩分濃度=300+1.805×Cl⁻濃度」です。

・塩分濃度（塩化物イオン値）の基準は飲料水200mg/ℓ以下、工業用水20mg/ℓ以下です。

(※) 堰下流左岸250m地点の塩化物イオン濃度計を整備中のため、堰直下流（No.8 堰柱地点）の塩分濃度を表記しています。

2) 堰上下流水域、揖斐川及び木曾川のシラベール（水質自動監視装置）のクロロフィルa（速報値）の状況は次のとおりです。

（単位：μg/L）

	堰下流水域			堰 上 流 水 域									堰流入地点			揖 斐 川			木 曾 川					
	揖斐長良大橋 3.0km			伊勢大橋 6.4km			長良川大橋 13.6km			東海大橋 22.6km			南濃大橋 28.4km			大藪大橋 31.2km			城 南 -0.5km			弥 富 8.7km		
	最大	最小	平均	最大	最小	平均	最大	最小	平均	最大	最小	平均	最大	最小	平均	最大	最小	平均	最大	最小	平均	最大	最小	平均
13日	60以上	5.5	-	2.8	1.8	2.1	2.8	1.4	1.9	2.0	1.6	1.8	3.4	2.3	2.5	0.7	0.6	0.6	7.4	2.4	4.1	60以上	6.6	-
14日	一部欠測のため不明：A			3.4	2.3	3.0	5.9	0.9	1.7	1.8	1.4	1.6	2.7	2.3	2.4	0.7	0.5	0.6	一部欠測のため不明：A			60以上	5.4	-
15日	60以上	5.5	-	3.4	2.3	3.0	1.5	0.9	1.3	3.1	1.5	1.7	一部欠測のため不明：A			0.7	0.6	0.6	13.2	2.2	4.3	26.3	4.9	12.2
16日	60以上	3.5	-	一部欠測のため不明：A			1.5	0.6	1.1	1.8	1.4	1.6	2.4	1.9	2.2	一部欠測のため不明：A			13.0	2.1	4.2	一部欠測のため不明：A		
17日	60以上	5.3	-	1.8	1.3	1.6	一部欠測のため不明：A			一部欠測のため不明：A			2.3	1.7	2.1	0.7	0.6	0.7	8.5	2.2	4.8	20.2	4.0	7.9
18日	60以上	3.5	-	1.8	1.1	1.6	1.4	0.9	1.2	1.9	1.3	1.6	2.4	1.9	2.2	0.7	0.6	0.7	7.9	1.9	4.0	11.8	4.1	7.4
19日	49.1	4.3	18.6	1.8	1.3	1.6	1.6	1.1	1.3	1.9	1.6	1.8	3.4	1.9	2.3	0.7	0.6	0.7	10.1	2.5	5.6	15.7	4.1	7.3

※ クロロフィルaの測定範囲の上限値は60μg/Lです。

※ 欠測理由 A：保守点検 B：出水 C：計測・電送不良等

※・クロロフィルa（chlorophyll a）は、植物の光合成において基本的な役割を果たしている葉緑素のひとつで、光合成細菌を除くすべての緑色植物に含まれているため、藻類の存在量の指標となります。従って、藻類の発生量が増加すると、クロロフィルaの値が増加します。

6. その他

1) ゲート保守点検

1月 14日、16日、17日に扉体、戸当り、開閉装置の保守点検を行いました。

2) 主な水利用

①長良導水（水道用水）

月 日	長良導水(水道用水)
1月 13日	1.69 m ³ /s
14日	1.75 m ³ /s
15日	1.75 m ³ /s
16日	1.80 m ³ /s
17日	1.80 m ³ /s
18日	1.75 m ³ /s
19日	1.64 m ³ /s
期間中の取水総量	約 105 万m ³
期間中の平均取水量	約 150 千m ³ /日
供給先	知多半島の4市5町

※データの出典先

長良導水：水資源機構木曾川用水総合管理所

総量は、日平均取水量(m³/s)の合計に、86,400(=60秒×60分×24時間)を掛け、当該期間中の延べの使用水量に換算したものの。

②その他にも水利権量の範囲内で利用されました。

なお、10月11日～3月31日の長良川用水（羽島市、海津市へのかんがい）の水利権量は0m³/sです。

名称	目的	水利権量	供給先
福原用水	かんがい	0.256m ³ /s※	愛西市
中勢水道	水道用水	0.732m ³ /s※	津市、松阪市
北伊勢工業用水	工業用水	2.951m ³ /s※	桑名市、四日市市他
桑名市長島町	水道・かんがい ・水路維持	1.22 m ³ /s※	桑名市長島町

※ 年間最大取水量

ホオジロ (雄) (ホオジロ科)



撮影：H26.1.14 桑名市河口堰駐車場周辺にて

1年で最も厳しい季節・大寒を迎えましたが、凍てつく寒さのなか、河口堰管理所の桜に止まって、春を待っているかのようなホオジロの雄です。

名前の由来は、頬が白いからとのことですが、この白い部分がはっきりしているのが雄。体全体の色が淡く、頬が茶色っぽいのが雌とのこと。この写真の鳥は、頬が白くはっきりしているのもので雄だと思います。そう見ると、ちょっと威張っているように見えるのは、気のせいでしょうか？

また、ホオジロは鳴き声がユニークです。人の言葉やフレーズに置き換えた“聞きなし”も沢山作られています。『一筆啓上仕り候』『源平ツツジ白ツツジ』などは有名だとか。本当に聞こえるかどうか？(笑)はわかりませんが、ホオジロが人にとってとても身近な存在ということがわかります。

厳しい冬を越え、春には素敵なさえずりを聞かせてくれるでしょう。今からとても楽しみです。 (練&藤)